

MONTHLY

神變別冊

宗派だより

令和6年6月号



令和六年六月六日発行
発行所 真言宗醍醐派宗務本庁

京都市伏見区
醍醐東大路町二十二

電話 〇七五―五七―一〇〇〇二

FAX 〇七五―五七―一〇〇〇二

苦しい時の神頼み あなたの成長は如何ですか？

三好 祥徳

初夏の候、若葉青葉に、折々の花々に、風香る境内にて一年前の自分と今を比べてこの居心地の度合いを自分の成長を考えたりしてありがたく奉職させていただいております。特に太閤秀吉さまが慶長三年（一五九八年）に催されました「醍醐の花見」からは桜の名所としても親しんでいただいております。その花見の華やかな様子は当山に伝わる「義演准后日記」（義演・醍醐寺八十代座主、秀吉の授助を受け醍醐寺伽藍などを復興。准后とは称号）に詳しく記されております。桜の季節、咲き始めの濃い紅の艶やかさ。たわたわと揺れ可憐に染まる満開の花。吹く風に優しく舞う花びら。特に朝一番の参道は、その花びらで薄紅色に染まり足を進めるのもったいないくらいでございます。そこに修行僧の足跡が真っ直ぐに五重塔に向かい視線と共に気持ちはずっと天に昇ります。とて

も贅沢な厳かな時間を過ごさせていただいております。先ずこの仏縁に感謝の気持ちで一杯であります。そこに吹く風には大切な人の存在が感じられ、「自分以外の命の尊さ」にも触れていただくことが出来ます。ありがたいう風の先頭が見えて参ります。神様が見えて参ります。そして、お話を聞いていただけます。

当山は、本年開創千五十年の慶たい御年を迎えさせていただきます。引き続き「法流の杜」の整備にもお心を寄せていただきますよう重ねてお願いを申し上げます。

古より「祈りの心」を大切に励んでおります。是非お足をお向けいただき、この風に触れて「モノの見方」を、そして「未来の幸せ」をご一緒にお考えいただけますと幸甚でございます。

今月の掲載内容

- ・ 苦しい時の神頼み あなたの成長は如何ですか？
- ・ 録事 宗派だより
- ・ 末寺・教会・醍醐寺だより
- ・ 本庁からのお知らせ
- ・ 醍醐寺からのお知らせ

3 3 3 2 1

開創1150年記念

醍醐寺国宝展

Celebrating the 1150th anniversary of the Founding of

Daigoji Temple and its National Treasures



会期：2024年6月15日（土）～8月25日（日）
休館日：月曜日、7/23日（火）※7/15（月・祝）、8/12（月・祝）は開館
会場：大阪中之島美術館 4階展示室
時間：10：00～17：00（入場は16：30まで）
<https://nakka-art.jp/exhibition-post/daigoji-2024/>

録事

▼宗務所移動

四月一日
任尾張宗務所所長 寶珠院
任尾張宗務所副所長 三光院

任尾張宗務所代議員
修靜院

養善院
豐善院
寶藏院

水野 秀海
福田 昭寛
梶川 昭寛

▼度牒授与
修驗籍

三月二十八日

大兵大
阪庫阪

岩田 孝誠
谷口 孝純
榊原 孝純

▼教師補任
本宗籍

四月二十五日

伝法学院第九十二回生
大僧都 北海道
大僧都 北海
大僧都 大阪
大律師 和歌山
大律師 和歌山
権少僧都 和歌山
権少僧都 和歌山
中僧都 和歌山

萩原 智範
小松 昇諦
園上 優人
井上 長隆
清水 香樹

令和五年十月十日

▼僧階昇補
本宗籍

四月二十五日

権律師 山梨
権少僧正 北海道

守屋 光仁
萩原 隆明

令和五年九月十九日

▼責任役員任命

四月十四日

備前 福壽寺

藤原 孝途

正福寺

砂木 光利
木川 保

龍華寺

神植 勝子
上植 幸夫

安楽院

上田 幸夫
神植 幸夫

四月二十五日
広島 安楽寺

四月三十日
三河西部 全寿寺

三河西部 妙善院

京都 観音寺

▼総代委嘱

令和五年九月十九日
香川 正福寺

令和六年四月一日
広島 龍華寺

広島 安楽院

四月十四日
三河東部 不動院

三河東部 福壽寺

四月二十五日
広島 安楽寺

四月三十日
三河西部 全寿寺

三河西部 妙善院

大塚 雅昇
御畑 美代子
引地 幸春
鈴江 幸春

羽柴 且悦
坂田 吉尚
田中 慶尚

田中 弥生
鈴木 俊夫
田中 直子

山本 典昭
平井 義明

黒木 裕夫
岡田 昭夫
大木 順夫
黒田 武夫
岡田 武夫
岡田 武夫

樋口 宇生
高口 恭生
高口 恭生
高口 恭生
高口 恭生
高口 恭生

榊原 哲生
加藤 哲生
藤原 哲生
藤原 哲生
藤原 哲生
藤原 哲生

鷹取 薫
開本 輝彦
河本 謙輔
白須 邦彦
引地 英徳
白須 義徳
白須 義徳
白須 義徳
白須 義徳
白須 義徳

堀本 昌直
白須 昌直
白須 昌直
白須 昌直
白須 昌直
白須 昌直

堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直

堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直

堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直

堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直

堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直

堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直

堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直

堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直
堀本 昌直

京都 観音寺

徳島直 大教院

▼承認・証明

四月二十五日
静岡 堀 悠晃
転入承認の件（高野山真言宗より転入）

四月二十六日
新潟 菅谷寺
土地購入承認の件

▼死亡

令和四年三月二十六日
広島 大僧都 高橋 康照

令和六年三月二十五日
大阪 権律師 久堀 妙淳

四月十四日
島根 高徳寺住職 藤原 紀学

〔お詫びと訂正〕
「神変」宗派だより令和六年五月号二頁中段「録事」の責任役員任命の記事の中で「三月二十八日 三重 大宝院一心寺」の誤り、また、同頁下段総代委嘱の記事の中でも「三月二十八日 三重 大宝院一心寺」は、「三月二十八日 三重 大法院一心寺」の誤りでした。ここに謹んでお詫びし、訂正いたします。

醍醐寺僧侶職員募集

- 1 僧籍を有する方で、健康で信仰心があり、後進の育成に努力を惜しまない方。
- 2 給与 17万円以上。
- 3 住居を用意（山内居住の場合は居室を用意）。また、通勤の場合は交通費を一部支給。
- 4 休日は年間75日、有給休暇法令通り付与。
- 5 健康保険、厚生年金加入。
- 6 勤務地は総本山醍醐寺。若干名を募集。
※募集要項詳細はお問い合わせください。

京都市伏見区醍醐東大路町22
総本山 醍醐寺

宗派だより

真言宗各派総大本山会 第一回人権推進合同委員会
令和六年四月十一日(木) 午後三時三十分 京都 真言宗智山派宗務本庁
宗内特別功勞表彰
令和六年四月十五日(月) 午後二時 金堂

住職 勤続五十年 該当者 六名
住職 勤続三十年 該当者 十四名
教師 在籍三十年 該当者 四十三名
宗務所長 任期満了 該当者 四名
『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議 第四十四回総会
令和六年四月十七日(水) 午後一時 大阪 立正佼成会 大阪普門館
真言宗布教連盟 第一回常任理事・理事・監事 合同会議
令和六年四月十七日(水) 午後三時 京都 真言宗智山派宗務本庁
第九十二回生 醍醐山伝法学院卒業式
令和六年四月二十五日(木) 午前十時 伝法学院

末寺・教会・醍醐寺だより

清瀧権現桜会 中日法要
令和六年四月一日(月) 午前十一時 柴燈大護摩供 柴燈護摩道場
解脱会三聖地巡礼祖山参拝
令和六年四月三日(水) 正午 柴燈大護摩供 柴燈護摩道場
金堂参拝

釈尊降誕会 花まつり
令和六年四月八日(月) 午前十時 平座理趣三昧 真如三昧耶堂
清瀧権現桜会 第六十九回 豊太閤花見行列
令和六年四月十四日(日) 午後一時 下伽藍

太閤殿下 佐川印刷株式会社 代表取締役会長 木下宗昭氏
清瀧権現桜会 結願法要 醍醐山青年連合会
令和六年四月十五日(月) 午前十時 恵印法要 金堂
感謝状授与式
令和六年四月十五日(月) 午後二時 金堂

静岡県 石亀敦氏 京都府 藤田綾子氏
京都府 田中啓太氏 京都府 久藤博誠氏
大阪府 森口晃心氏 和歌山県 滝谷知山氏
岡山県 藤原巧氏 山口県 松岡隆雄氏

清瀧権現桜会 大蔵流奉納狂言
令和六年四月十五日(土) 午後三時 金堂
『清水』 茂山千五郎、茂山茂、井口竜也

神奈川 成就院 かむながらのみち 百五名団参
令和六年四月二十一日(日) 午後零時二十分 柴燈大護摩供 柴燈護摩道場
午後一時三十分 回向法要 金堂

本庁からのお知らせ

総務部より

宗教法人の寺院・教会は、毎年会計年度終了後四月以内に役員名簿と財産目録の写しを所轄庁(都道府県庁)に提出することとなっております。『宗教法人法』第二十五条第四項
この他にも、収支計算書、貸借対照表、境内建物に関する書類、事業に関する書類の写しの提出が必要となる場合があります(詳細は、真言宗醍醐派宗務本庁ホームページ)

ジ又は、文化庁ホームページ参照。
宗務本庁では、これらの書類の写しを本庁にも提出いただくことを、宗教法人並びに非宗教法人の寺院・教会にお願いいたしております。
また、寺院・教会は、適切な運営のため、当該寺院・教会規則に基づき、責任役員及び総代を置かなければなりません。責任役員・総代に欠員が生じた場合、任期満了になられた場合には、速やかに申請を行ってくださいますようお願いいたします。

財務部より

令和六年度の宗費賦課金は、今月ご請求させていただき予定ですが、
本宗教師・修験道教師の方で、銀行引き落とし(個人宗費に限り)に登録されている場合は、八月の引き落としとなりますので、改めて引き落とし日をご通知させていただきます。
醍醐寺開創千五百年慶讃事業義納金をはじめ、各種お支払いに関するお問い合わせは、宗務本庁財務部までお願いいたします。

教学部より

修験伝法教校 令和六年十月十一日(金) 十月十五日(火)
令和六年十月十二日(土) 修験得度式
令和六年十月十四日(月・祝) 恵印灌頂
※詳細は教学部までお問い合わせください。
教学部では、さまざまな研修会のご要望を募集しております。
現地での開催希望の場合は宗務所単位や、ある程度の参加人数でのご相談となりますので、是非お問い合わせください。

醍醐寺からのお知らせ

第七十三回三寶院門跡葛城山蓮華入峰修行 醍醐寺開創千五百年記念入峰
令和六年七月七日(日) 葛城山転法輪寺 入峰修行 柴燈大護摩供
※別紙申込書にてお申し込みください。
第五十五回三寶院門跡大峯山奥駈入峰修行 / 釈迦岳・熊野三山修行
醍醐寺開創千五百年記念入峰
令和六年七月十九日(金) 七月二十二日(月)
令和六年七月二十日(土) 七月二十二日(月)
※別紙申込書にてお申し込みください。
醍醐寺 万灯会
令和六年八月五日(月) 午後六時 金堂

伝授開庭告知

醍醐寺では本年秋に左記の伝授の開庭を予定しております。
○理性院流 太元護摩 付息災 伝授 九月に開庭予定
伝授大阿闍梨 醍醐寺座主・三寶院門跡 壁瀬宥雅 大僧正猥下
日程などの詳細はあらためてご連絡いたします。
○梵字悉曇伝授 / 坂井榮信 悉曇阿闍梨相承
澄禪流梵字・智満流梵字伝授 / 悉曇灌頂
第一会十月一日、二日開庭(全十二会予定)
伝授悉曇阿闍梨 種智院大学副学長 児玉義隆 僧正
※約三年を予定し、悉曇灌頂を開壇します。
※講義はオンライン配信も予定しております。



<p style="text-align: center;">和光印刷株式会社</p> <p>〒602-0012 京都市上京区烏丸通上御霊前上ル TEL (075) 441-5408 FAX (075) 441-4982 E-mail info@wako-print.co.jp</p>	<p style="text-align: center;">杉本権七法衣店</p> <p>〒600-18304 京都市下京区新町通六条下ル TEL (075) 351-2890 FAX (075) 341-6774</p>	<p style="text-align: center;">山城屋文政堂 藤井佐兵衛</p> <p>〒600-18029 京都市下京区寺町通五条上ル TEL (075) 351-9363 FAX (075) 343-5500 http://yamasa-bunseido.com</p>	<p style="text-align: center;">大住法衣店</p> <p>〒604-18274 京都市中京区小川通三条上ル西堂町 TEL (075) 221-3087 FAX (075) 221-3038 E-mail oosumihiou@gmail.com</p>
<p style="text-align: center;">大峯山陀羅尼助丸 花谷神変堂</p> <p>〒638-10431 奈良県吉野郡天川村洞川235 TEL (0747) 64-0047 FAX (0747) 64-0070</p>	<p style="text-align: center;">林勘法衣店</p> <p>〒602-10874 京都市上京区河原町丸太町 西筋下ル東土御門町345 TEL (075) 231-2244 FAX (075) 255-6632 E-mail hayashikan@beachoc.ne.jp</p>	<p style="text-align: center;">法衣・仏具製造及び販売</p>  <p style="text-align: center;">井筒法衣店</p> <p>600-8468 京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前) Tel 075-365-0001 0120-075-730 Fax 075-353-7021</p> <p>オンラインショップはこちらから →</p> 	<p style="text-align: center;">田中伊雅佛具店</p> <p>〒600-18453 京都市下京区万寿寺西洞院東入ル TEL (075) 351-2584 FAX (075) 341-8822 http://www.tanakaiga.com</p>
<p style="text-align: center;">松栄堂</p> <p>〒604-10857 京都市中京区烏丸通二条上ル東側 TEL (075) 212-5590 https://www.shoyeido.co.jp</p>	<p style="text-align: center;">今井半念珠店</p> <p>〒605-10934 京都市東山区大黒町通正面南入 TEL (075) 561-0307 FAX (075) 525-2557</p>	<p style="text-align: center;">上田法衣佛具店</p> <p>〒604-10913 京都市中京区河原町二条西入上ル TEL (075) 221-3348 FAX (075) 211-1858</p>	<p style="text-align: center;">土山印刷株式会社</p> <p>〒601-18308 京都市南区吉祥院向田東町14 TEL (075) 312-1132 FAX (075) 313-8521 www.tsuchiyama.co.jp</p>



醍醐寺開創1150年慶讃事業義納金について

今般の義納金は、醍醐寺開創以来1150年に亘って受け継がれてきた法流伝承の象徴として「法流の杜」を整備するための大切なものです。

詳細はお手元のパンフレットをご確認いただき、是非お早目の納入をお願いいたします。

ご不明点は宗務本庁までお問い合わせください。

[お問い合わせ] 宗務本庁 TEL : 075-571-0002

真言宗醍醐派公式ホームページのURLは、
<https://www.daigo.ne.jp/> です。

宗派内ページ（ログインが必要*）からは、所轄庁提出書類（収支計算書、財産目録、境内建物に関する書類）のひな型や責任役員、総代任命などに関する書類、僧階昇補、住所変更等に関する書類などがダウンロードできます。また、寺院・教会名簿なども閲覧できますので、是非ご活用ください。

*宗派内ページへのログインパスワードは、shoubou1145 です。